

## 「LGBT等に関する教職員研修会」を終えて

### 1 研修会の目的

平成27年4月に文部科学省から「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」の通知が出された。また、平成28年4月には「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」の教職員向けのパンフレットが各学校に配布された。

性同一性障害や性的指向を理由として、制服、トイレ、着替え等で生きにくさを抱えているLGBT等の子どもたちがクラスに1、2名はいると言われている。そのような児童生徒への対応や教職員の理解と認識を深めるため研修会を実施した。

### 2 研修会の日時・場所

【1日目】11月14日（火） 13:30～16:30 レクザムホール 小ホール

【2日目】11月21日（火）または28日（火）13:30～16:30 香川県社会福祉総合センター

### 3 研修会の内容

学校現場における問題点等を踏まえ、いまだのようなことで当事者が困っているのか、具体的に学校や教職員にどのような対応が求められているのかなど、当事者や医師の講演等を聴くことをとおして、人権感覚のある教職員の育成を図ることができる内容を計画実施した。

【1日目】講演Ⅰ：「性別で見る多様性と人権 ～見えない／見せないしんどさを抱える子どもにも向き合う～」  
飯田亮瑠（ダイバーノン代表）

講演Ⅱ：「LGBTの基礎知識と子どもへの対応」  
中塚幹也（岡山大学大学院教授）

【2日目】講演：「家族と共に性同一性障害を生きる」  
高野 晶（PROUD）、高野さんのご家族

当事者の方を交えてのグループ研修

### 4 参加対象と人数

管理職、人権・同和教育主任、養護教諭、その他研修が必要であると考えられる教職員等

14日は260名、21日は100名、28日は104名の教職員が参加して開催された。

具体的研修内容や参加者の方のアンケート結果を紹介しながらセクシュアルマイノリティ

（性的少数者）について考えるきっかけにいただければと考え、報告いたします。

#### セクシュアルマイノリティ（性的少数者）

L esbian レズビアン：女性同性愛者

G ay ゲイ：男性同性愛者

B isexual バイセクシュアル：両性愛者

T rans gender トランスジェンダー

：心の性別と体の性別が違っていると感じる  
生まれもった性別に違和感を感じる人

#### 性に関する3つの要素

##### 体の性別

生殖器の有無、染色体などで判別できる  
生物学的な性別＝戸籍の性別

##### 心の性別

自分の自覚による性別  
（自分が男と思っているか  
女と思っているか）

##### 性的指向

恋愛対象がどちらの性に向かっているか